



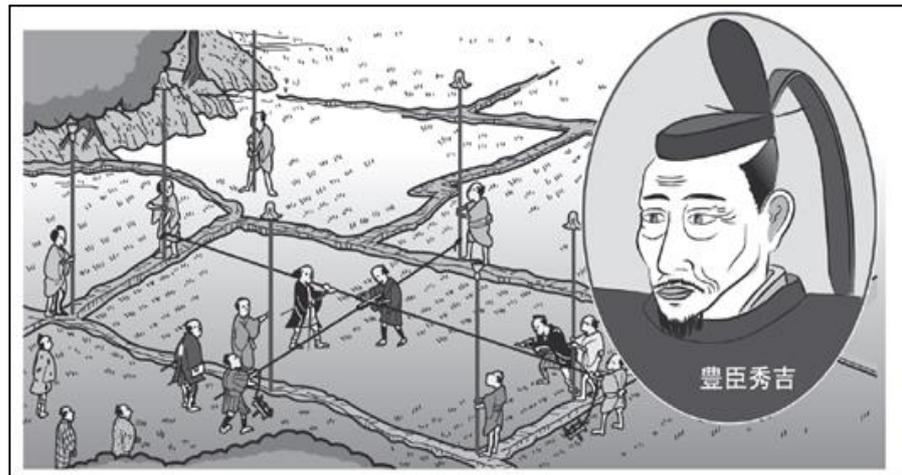
霧島市「今週の1問」
中2社会 9月27日版
進路・夢実現に向けて、この1問をクリア
しよう！

解 答

(かごしま学力向上支援 Web システム改題)

- 1 資料1・2は豊臣秀吉が行った検地の様子と刀狩令の内容である。この二つの政策は武士と農民を区別する「兵農分離」につながるものであった。検地の内容と目的、刀狩の内容と目的を100字以上120字以内でそれぞれ説明しなさい。

(資料1) 検地の様子



(資料2) 刀狩令 (一部要約)

一. 諸国の百姓が、刀・わきざし・弓・やり・鉄砲、その他の武器を持つことを固く禁止する。不要な道具を蓄え、年貢や雑税を納めず、一揆をくわだて、その土地の領主に対し、無礼なことをする者はもちろん罰する。大名や代官の責任において武具をことごとく取り集め、差し出すようにせよ。

(例) **検地**は農民から年貢を確実に集める目的で、全国の田畑の面積や土地のよしあしを調べ、予想される収穫量を全て米の体積である石高こくだかで表した。**刀狩**は武力による一揆を防ぐ目的で、農民(や寺社)から刀や弓、やり、鉄砲などの武器を取り上げることにした。(115文字)